

本時のねらい

- ・休みの日の過ごし方について、ロイノートのカード資料を使いながらわかりやすくスピーチする。
- ・興味を持ってスピーチを聞く。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ロイノートのカードを使って、スピーチの資料をつくることによって、安心してスピーチができるようにする。
- ・スピーチ資料を見ながら聞くことで、話の理解の支援とする。

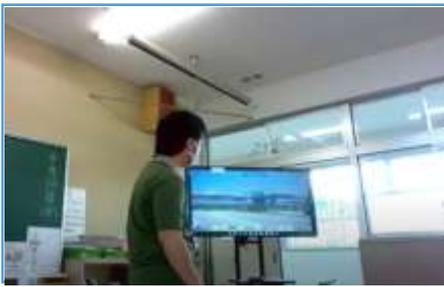
活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ロイノート
- ・大型モニター
- ・カメラ

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5分)	○本時の課題をつかむ。 カード資料を作成して、自席でスピーチすることを確認する。 【写真1】	○大型モニターで教員が作成した見本の資料を見せて、イメージを持たせる。
展開 (35分)	○スピーチの資料を作る。 ○スピーチする。 ○スピーチを聞いてから、感想や質問をして交流する 【写真2】	○ロイノートを使い、資料の作成を行う。 ○タイピング入力、音声入力、手書き入力などの入力方法は個人で選択できるようにすることで、自分に合った方法で課題に取り組む力を育む。 ○作った資料を提出させ、資料を見せながらスピーチすることで、視覚的にわかりやすくなり、話の理解を促すとともに、聞く態度を育てる。
まとめ (5分)	○本時の振り返りを発表する。 【写真3】	○振り返りをロイノートで提出させ、全体で共有する。 ○発表児童のカードを大型モニターで提示する。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】大型モニターで教員が作成した見本の資料を見せて、イメージを持たせている様子



【写真2】ロイノートを使い、資料の作成を行っている様子



【写真3】発表児童のカードを大型モニターで提示している様子

児童生徒の反応や変容

- ・「みんなの話がきけて楽しかった。」、「土日みんないるんなことをしているんだなと思った。」、「〇〇さんが言っていた山に今度登ってみる。」など、友だちの話に意欲的に傾聴する姿がみられた。
- ・資料を作り、それを見せながらスピーチすることで、話すことが苦手な児童も自信をもってスピーチできた。
- ・視覚的にわかりやすいため、興味を持って集中して聞くことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・ロイノートの基本操作、スクリーンショットができれば、タイピングができなくてもわかりやすい資料をつくることができた。
- ・資料のカード枚数を限定することで、話す内容を検討し、より分かりやすく伝えることを考えることにつながるだろうと感じた。
- ・普段の生活で体験したことなど児童が取り組みやすい課題を設定し、どの児童も安心して楽しく取り組むことができるようにした。